

向日市のまちづくりに関する市民アンケート

結果

令和6年10月

向日市

目次

■ 調査の概要

調査の概要	1
-------	---

■ あなた（回答者）ご自身について

問1 年齢	2
問2 居住地	3
問3 居住歴	3
問4 居住地を向日市に決めた理由	4

■ まちの住み心地や、まちの施策について

問5 向日市の住み心地	5
問6 良いと思う点	7
問7 良くないと思う点	9
問8 定住意向	11
問9 雇用・経済の活発化	13
問10 少子化対策	15
問11 安心・安全	17
問12 まちの将来	19

■ 施策の満足度・重要度について

問13 満足度	21
重要度	23

■ ほかに個別の事業に関する設問について

問14 運動やスポーツをする頻度	27
問15 運動やスポーツを行いたい環境	29

■ 自由意見

自由意見	31
------	----

向日市のまちづくりに関する市民アンケート 結果報告

■ 調査の概要

1 調査目的

まちづくりに関して、市民の皆様が日頃感じておられることを把握し、施策の推進に反映する。

2 調査方法

調査名称	向日市のまちづくりに関する市民アンケート
調査地域	向日市全域
対象者	18歳以上の市民
対象抽出方法	無作為抽出
抽出数	2,000件
実施期間	令和6年7月10日から7月31日まで
調査方法	郵送により配布・回収

3 調査票の回収状況

調査票の有効回収数は787件、有効回収率39.4%の結果を得ました。

4 分析についての注意点

- ・比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計値が100%にならない場合があります。
- ・「2つ以上を選択回答」の設問については、百分率の合計が100%を超える場合があります。
- ・図中で「n」は回答者数を示しています。

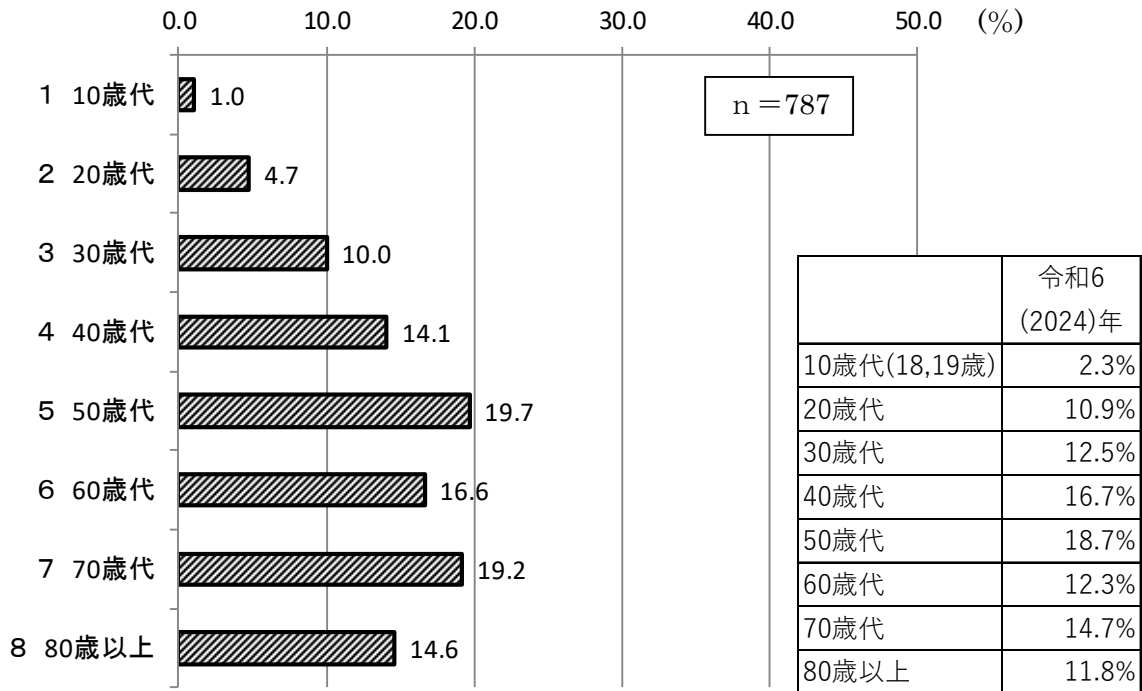
5 調査項目

回答者属性	年齢、居住地、居住歴、向日市選択理由
住み心地やまちづくりの取組について	住み心地や定住意向について ○向日市の住み心地、良い点、良くない点 ○定住意向
	まちづくり課題について ○雇用や経済の活性化について ○少子化対策について ○地域の安心・安全について
	まちの将来について ○まちの将来について
	施策の満足度・重要度について ○文化やコミュニティに関すること。 ○健康や福祉に関すること。 ○にぎわいや活力に関すること。 ○快適な生活環境に関すること。 ○道路の整備に関すること。 ○安心・安全に関すること。 ○土地利用や都市整備に関すること。 ○情報発信全般に関すること。 ○まちづくり全般に関すること。
	ほか個別事業に関すること ○生涯スポーツに関すること
自由意見	自由記述

■ あなた（回答者）ご自身について

問 1 あなたの年齢は。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。（令和6年7月1日現在でお答えください）

1	10歳代	4	40歳代	7	70歳代	
2	20歳代	5	50歳代	8	80歳以上	
3	30歳代	6	60歳代			



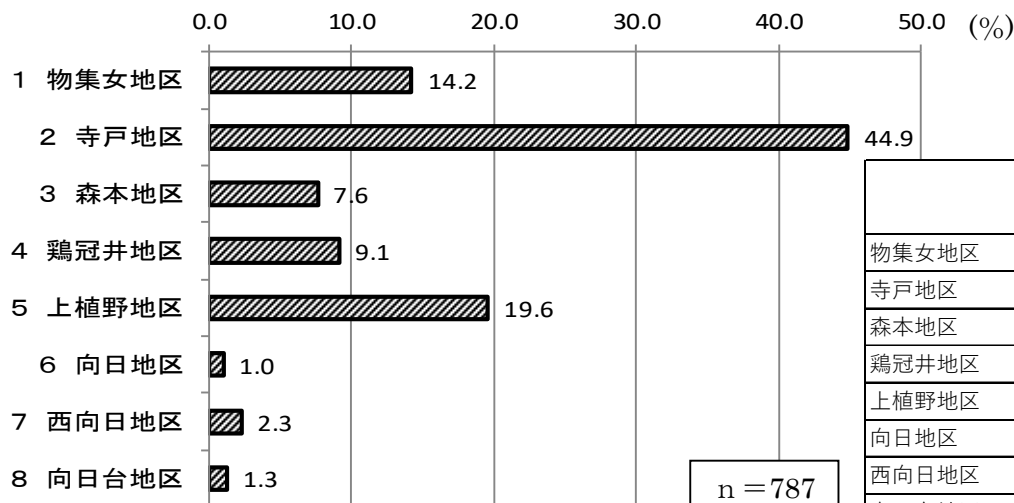
【60歳以上で約半数を占める】

○年代別にみると、50歳代が19.7%と最も高い比率を占め、また、60歳代以上が50.4%と半数以上の回答を占めています。

○向日市現状（R6）の年齢層と比べて回答者の年齢層は高くなっています。

問2 あなたのお住まいは。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

1 物集女地区	4 鶏冠井地区	7 西向日地区
2 寺戸地区	5 上植野地区	8 向日台地区
3 森本地区	6 向日地区	



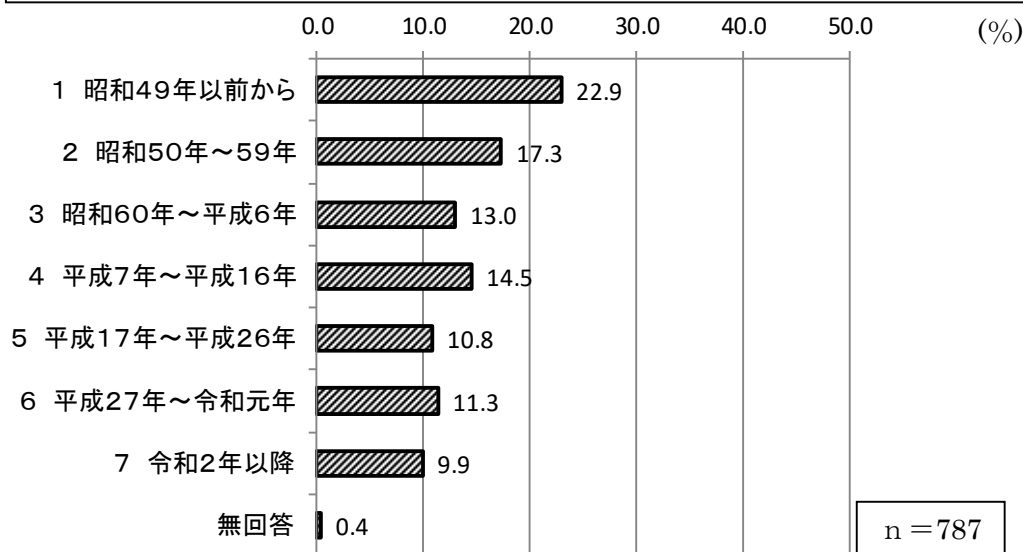
	令和6 (2024)年
物集女地区	14.7%
寺戸地区	45.1%
森本地区	7.7%
鶏冠井地区	8.8%
上植野地区	18.8%
向日地区	1.6%
西向日地区	2.3%
向日台地区	1.1%

【現状の地区別の人口構成に近似した回答】

○回答者を地区別にみると、各地区において、向日市現状（R6）に近い回答が得られています。

問3 あなたはいつ頃から向日市にお住まいですか。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

1 昭和49年(1974年)以前から
2 昭和50年(1975年)～昭和59年(1984年)
3 昭和60年(1985年)～平成6年(1994年)
4 平成7年(1995年)～平成16年(2004年)
5 平成17年(2005年)～平成26年(2014年)
6 平成27年(2015年)～令和元年(2019年)
7 令和2年(2020年)以降



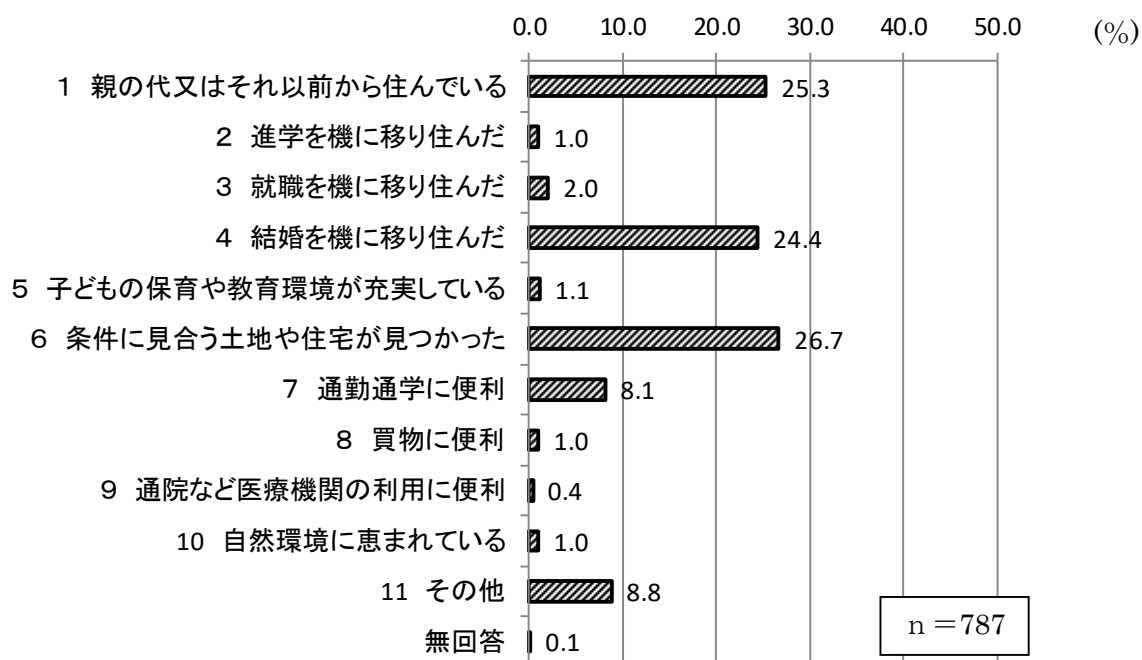
【おおよそ30年以上居住する回答者が半数】

○平成6年（1994年）以前（30年以前）から居住する回答者が53.2%と過半数を占めています。居住歴が5年未満（令和2年以降）からの回答は、9.9%得られています。

問4 お住まいを向日市に決めたのはなぜですか。あてはまる番号を1つ選んで、右欄にご記入ください。

1 親の代又はそれ以前から住んでいる	
2 進学を機に移り住んだ	
3 就職を機に移り住んだ	
4 結婚を機に移り住んだ	
5 子どもの保育や教育環境が充実している	
6 条件に見合う土地や住宅が見つかった	
7 通勤通学に便利	
8 買物に便利	
9 通院など医療機関の利用に便利	
10 自然環境に恵まれている	
11 その他（具体的に	）

--



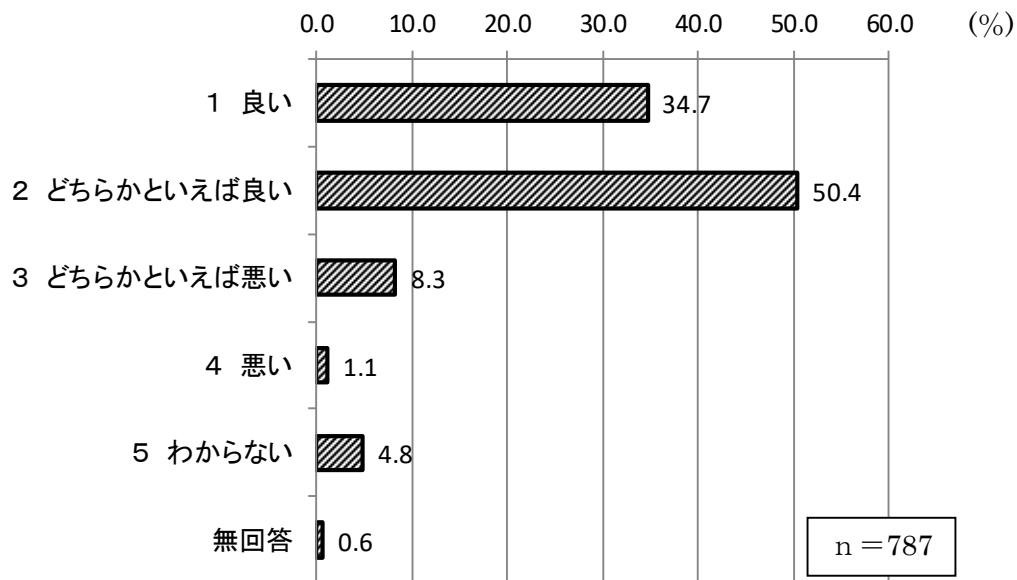
【住宅・用地の確保などが居住の契機に】

○居住地を向日市に決めた理由としては、「条件に見合う土地や住宅が見つかった」が26.7%と多く、以下、「親の代から住んでいる」「結婚を機に移り住んだ」が続いています。

■ まちの住み心地や、まちの施策について

問5 あなたは向日市の住み心地について、どう思いますか。あてはまる番号を1つ選んで、右欄にご記入ください。

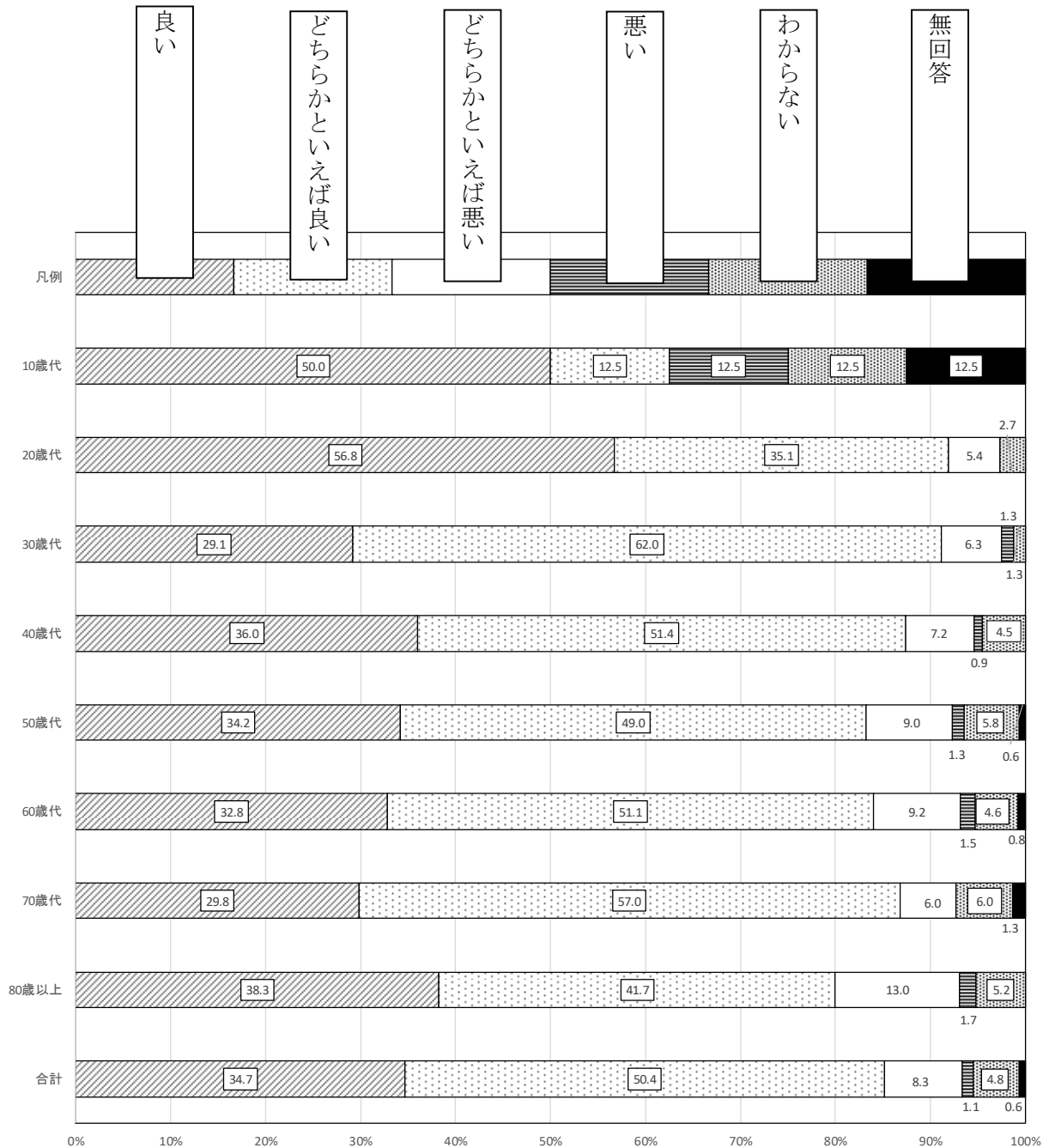
- | | |
|--------------|---------|
| 1 良い | 4 悪い |
| 2 どちらかといえば良い | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば悪い | |



【住みよいと評価する意見が8割超え】

- 向日市の住み心地については、「良い」が34.7%、「どちらかといえば良い」が50.4%で、合わせて85.1%の市民が向日市を住み心地の良いまちだと評価しています。
- 「悪い」と評価する意見は1.1%、「どちらかといえば悪い」も8.3%にとどまっています。

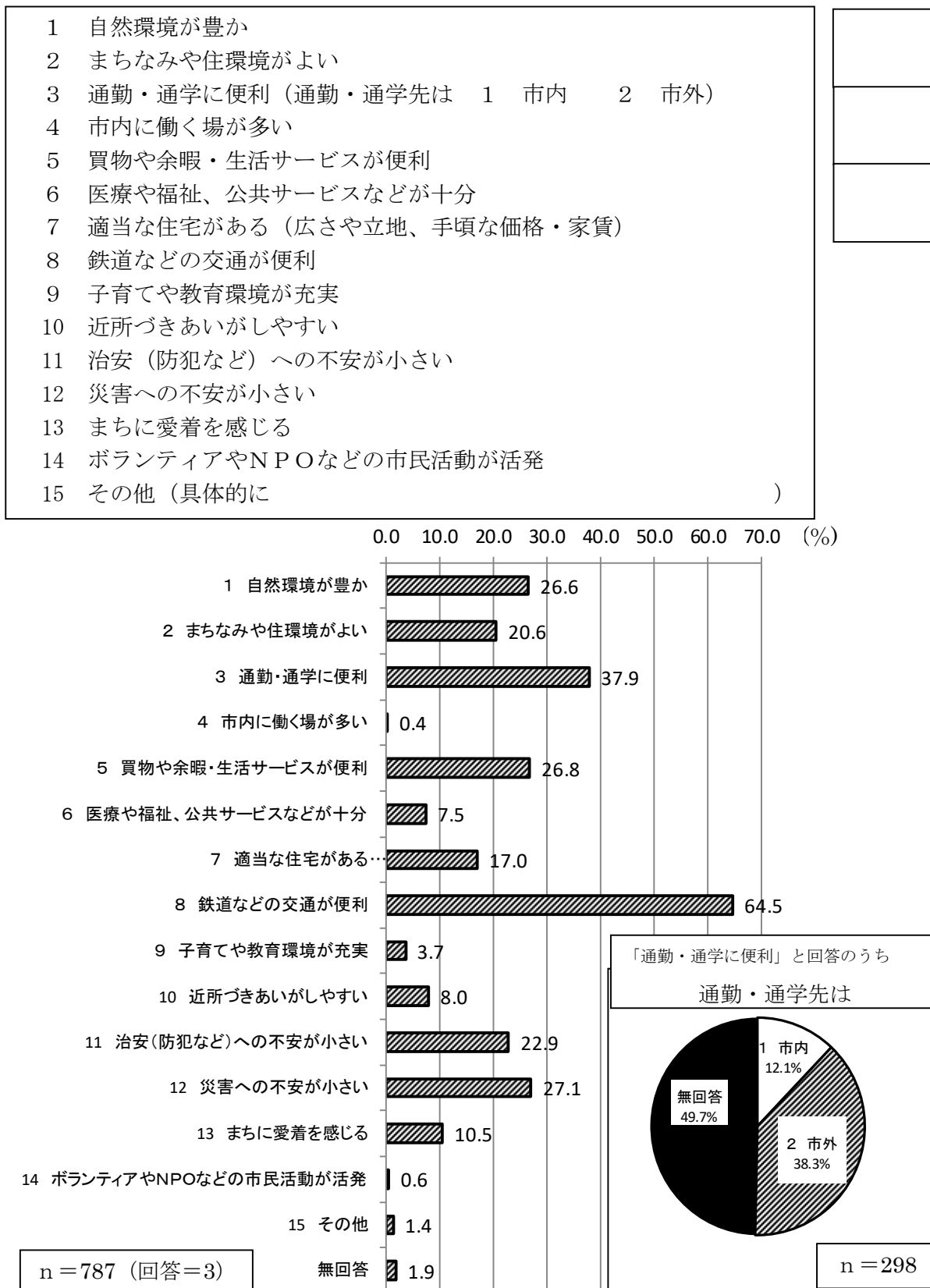
【年代別集計】



【住みよいと評価する意見が8割程度】

- 年代別にみると、「良い」と評価する意見は20歳代で56.8%と最も多くなっています。
- 「良い」「どちらかといえば良い」を合わせると、10歳代を除く全ての年代において、8割程度が向日市の住み心地を良いと評価しています。

問6 向日市に住んでいて、良いと思う点は何ですか。次の中から3つまで選んで、右欄にご記入ください。



【良い点は利便性】

○住んでいて良い点としては、「鉄道などの交通が便利」が64.5%と突出して多く選択され、「通勤・通学に便利」が37.9%で続くなど、利便性を評価する意見が上位となっています。

○以下、「災害への不安が小さい」（27.1%）、「自然環境が豊か」（26.6%）がそれぞれ3割程度の意見を集めています。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	鉄道などの交通が便利 50.0%	まちに愛着を感じる 37.5%	自然環境が豊か 他 25.0%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	鉄道などの交通が便利 48.6%	買い物や余暇・生活サービスが便利 35.1%	まちなみや住環境がよい 32.4%
	通勤・通学に便利 48.6%	治安（防犯など）への不安が小さい 35.1%	

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	鉄道などの交通が便利 69.6%	通勤・通学に便利 40.5%	買い物や余暇・生活サービスが便利 34.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	鉄道などの交通が便利 68.5%	通勤・通学に便利 47.7%	買い物や余暇・生活サービスが便利 42.3%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	鉄道などの交通が便利 70.3%	通勤・通学に便利 45.8%	まちなみや住環境が良い 25.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	鉄道などの交通が便利 66.4%	通勤・通学に便利 41.2%	まちなみや住環境が良い 29.8%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	鉄道などの交通が便利 66.9%	災害への不安が小さい 41.7%	自然環境が豊か 33.8%

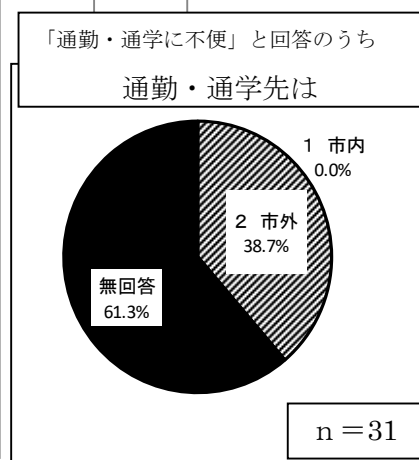
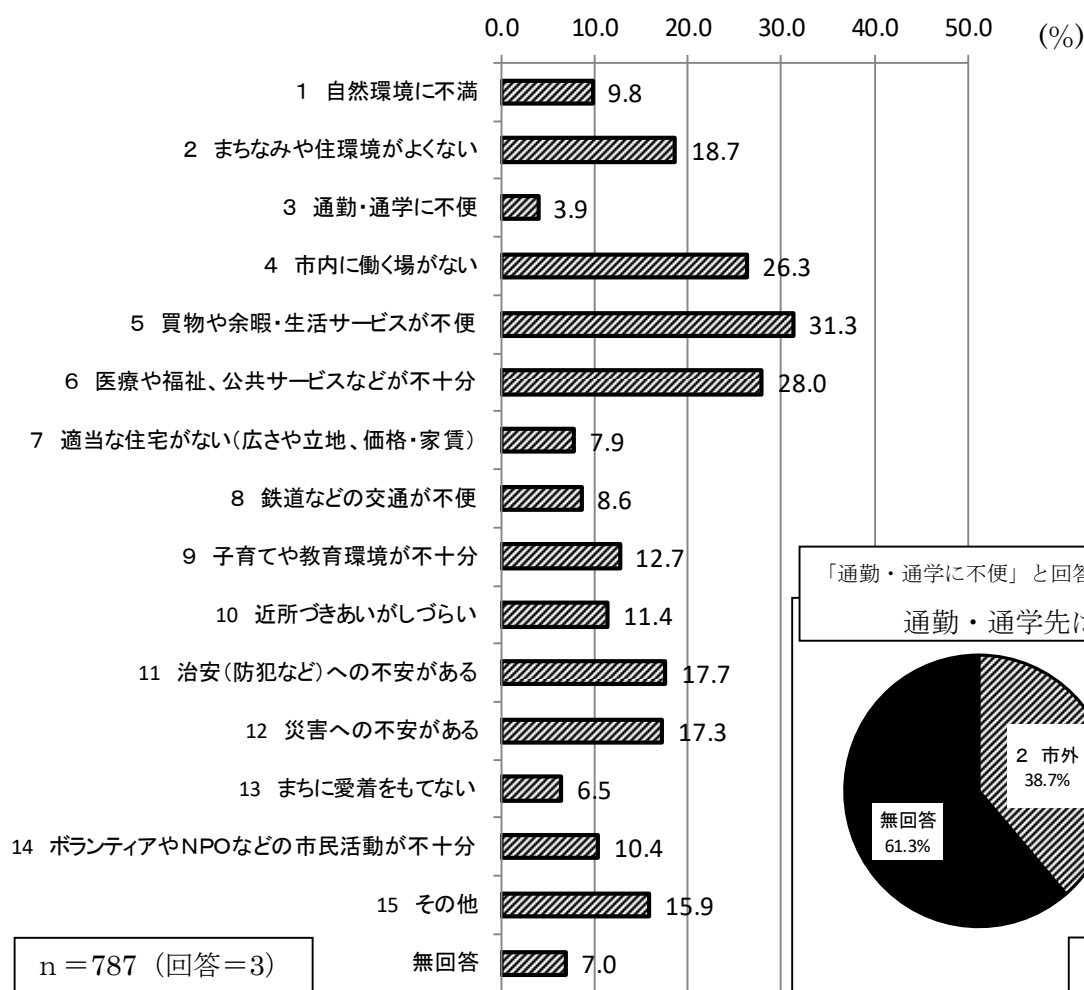
	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	鉄道などの交通が便利 50.4%	災害への不安が小さい 45.2%	自然環境が豊か 35.7%

【全ての年代で「鉄道などの交通が便利」が第 1 位】

- 年代別にみると、「鉄道などの交通が便利」が全ての年代で第 1 位となっています。
- 20～60 歳代で「通勤・通学に便利」が第 2 位（20 歳代では同率 1 位）、70～80 歳以上では「災害への不安が小さい」が第 2 位になっているほか、10～40 歳代で「買い物や余暇・生活サービスが便利」が第 3 位（20 歳代では同率 2 位）、10 歳代及び 50～60 歳代で「まちなみや住環境がよい」が第 3 位、10 歳代及び 70～80 歳以上で「自然環境が豊か」が第 3 位となっています。

問7 向日市に住んでいて、良くないと思う点は何ですか。次のなかから3つまで選んで、右欄にご記入ください。

1 自然環境に不満	
2 まちなみや住環境が良くない	
3 通勤・通学に不便（通勤・通学先は 1 市内 2 市外）	
4 市内に働く場がない	
5 買物や余暇・生活サービスが不便	
6 医療や福祉、公共サービスなどが不十分	
7 適当な住宅がない（広さや立地、価格・家賃）	
8 鉄道などの交通が不便	
9 子育てや教育環境が不十分	
10 近所づきあいがしづらい	
11 治安（防犯など）への不安がある	
12 災害への不安がある	
13 まちに愛着をもてない	
14 ボランティアやNPOなどの市民活動が不十分	
15 その他（具体的に _____）	



【「買物や余暇・生活サービス」「医療・福祉・公共サービス」「働く場」が上位】

○住んでいて良くない点としては、「買物や余暇・生活サービスが不便」が31.3%と最も多くの意見を集め、以下「医療や福祉、公共サービスなどが不十分」(28.0%)、「市内に働く場がない」(26.3%)の2項目が2割以上となっています。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 37.5%	まちなみや住環境がよくない 25.0%	自然環境に不満 他 12.5%
	その他 37.5%		

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	市内に働く場がない 27.0%	買物や余暇・生活サービスが不便 24.3%	子育てや教育環境が不十分 16.2%
	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 27.0%		災害への不安がある 16.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 31.6%	子育てや教育環境が不十分 30.4%	まちなみや住環境がよくない 24.1%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 27.9%	市内に働く場がない 27.0%	買物や余暇・生活サービスが不便 25.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 30.3%	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 26.5%	市内に働く場がない 25.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 31.3%	市内に働く場がない 30.5%	災害への不安がある 23.7%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 35.1%	買物や余暇・生活サービスが不便 32.5%	市内に働く場がない 31.1%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	買物や余暇・生活サービスが不便 38.3%	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 32.2%	治安（防犯など）への不安がある 18.3%
			災害への不安がある 18.3%

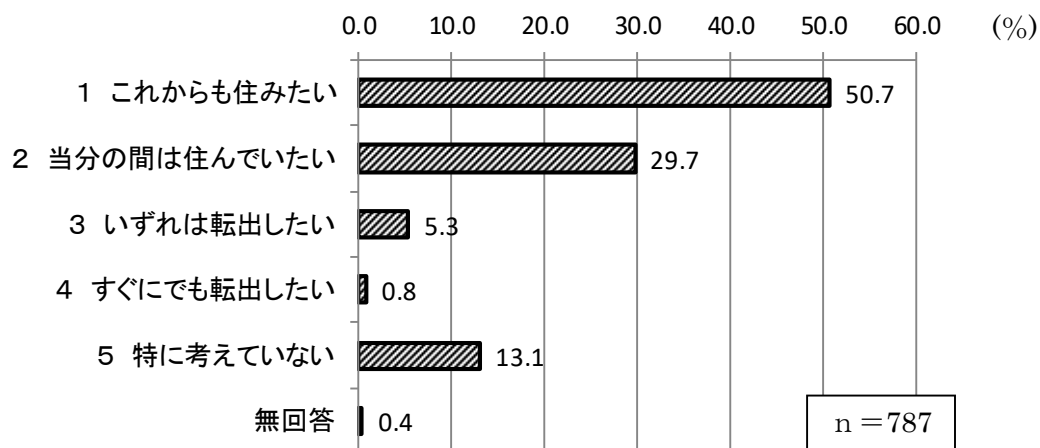
【各年代とも上位項目は同様の傾向】

○幅広い年代で「買物や余暇・生活サービスが不便」「医療や福祉、公共サービスなどが不十分」「市内に働く場がない」が上位項目となっています。

○10 歳代では「まちなみや住環境がよくない」、30 歳代では「子育てや教育環境が不十分」が 2 位となっています。

問8 あなたはこれからも向日市に住みたいと思いますか。あてはまる番号を1つ選んで、右欄にご記入ください。

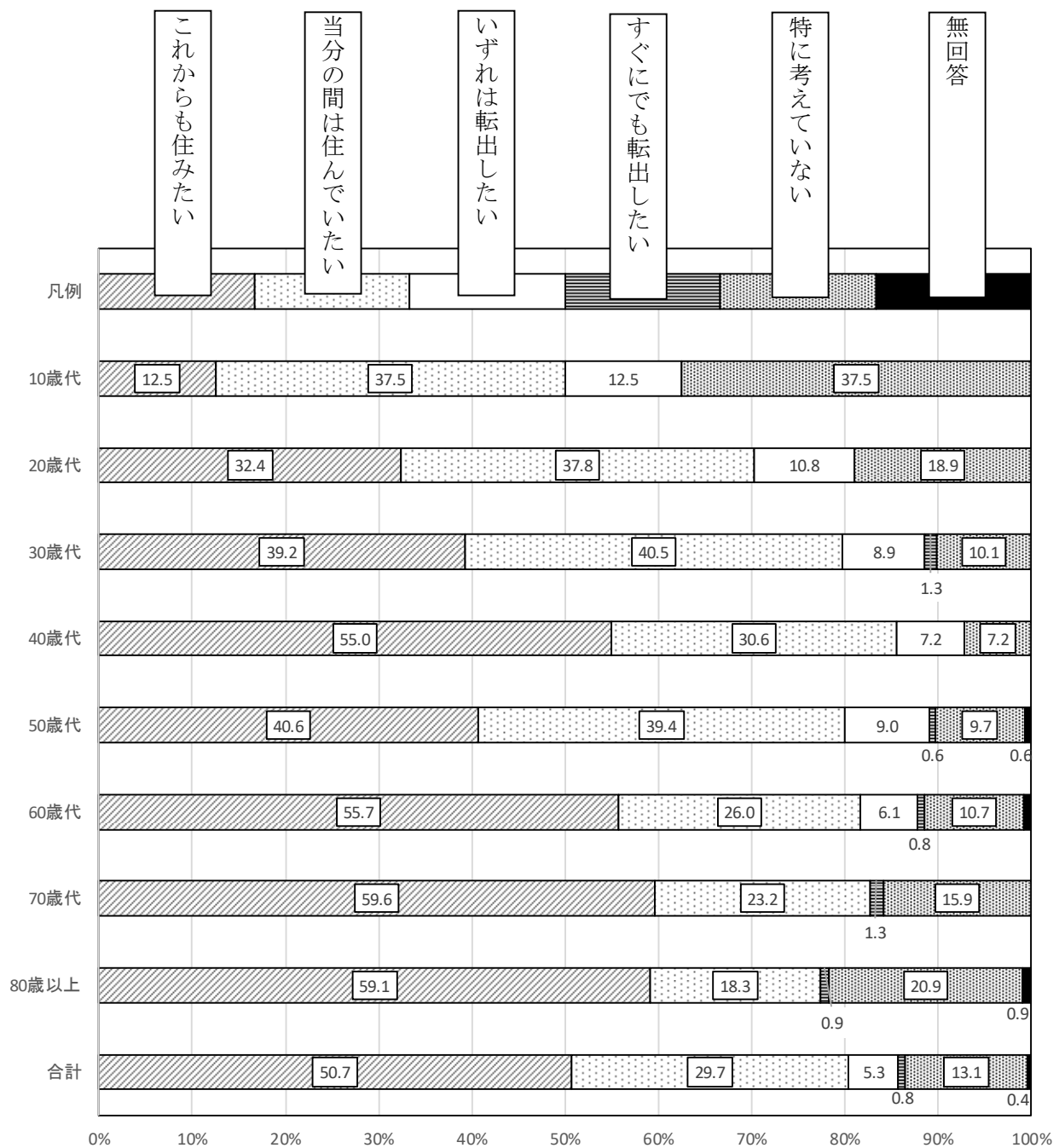
- 1 これからも住みたい
- 2 当分の間は住んでいたい
- 3 いずれは転出したい
- 4 すぐにでも転出したい
- 5 特に考えていない



【8割が継続的な定住意向】

○向日市に対する定住意向は「これからも住みたい」（50.7%）と「当分の間は住んでいたい」（29.7%）を合わせて、80.4%が継続的な定住意向を示しています。「いずれは転出したい」「すぐにでも転出したい」は合わせて6.1%にとどまっています。

【年代別集計】



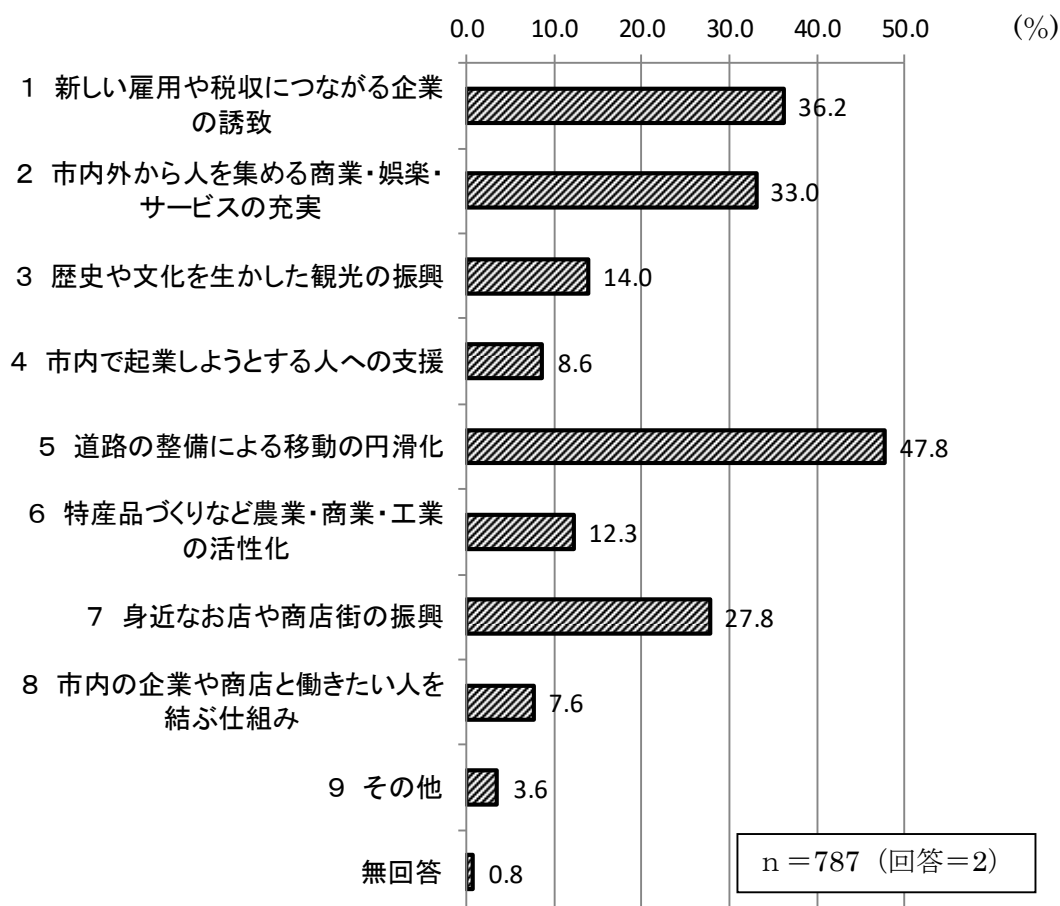
【ほぼすべての年代で7割以上が定住意向を示す】

○年代別にみると、「これから住みたい」「当分の間は住んでいたい」を合わせた定住意向は10歳代を除くすべての年代で7割以上となっています。

○10歳代では定住意向は50.0%ですが、「いずれは転出したい」という転出意向も12.5%にとどまっています。

問9 雇用やまちの経済を活発にしていくためには、どのような取組みが大切だとお考えですか。特に大切だと思うものを2つまで選び、右欄にご記入ください。

- 1 新しい雇用や税収につながる企業の誘致
- 2 市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実
- 3 歴史や文化を生かした観光の振興
- 4 市内で起業しようとする人への支援
- 5 道路の整備による移動の円滑化
- 6 特産品づくりなど農業・商業・工業の活性化
- 7 身近なお店や商店街の振興
- 8 市内の企業や商店と働きたい人を結ぶ仕組み
- 9 その他（具体的に



【「移動の円滑化」「企業の誘致」「商業・娯楽・サービスの充実」が上位項目】

○雇用や経済の活発化のためには、「道路の整備による移動の円滑化」が大切とする意見が最も多く、47.8%となっています。続いて「新しい雇用や税収につながる企業の誘致」(36.2%)、「市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実」(33.0%)となっており、3割以上の回答を集めています。

【年代別集計】

	第1位	第2位	第3位
10 歳代	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 75.0%	道路の整備による移動の円滑化 62.5%	身近なお店や商店街の振興 25.0%

	第1位	第2位	第3位
20 歳代	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 43.2%	身近なお店や商店街の振興 35.1%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 29.7%

	第1位	第2位	第3位
30 歳代	道路の整備による移動の円滑化 55.7%	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 46.8%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 34.2%

	第1位	第2位	第3位
40 歳代	道路の整備による移動の円滑化 55.7%	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 43.2%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 36.0%

	第1位	第2位	第3位
50 歳代	道路の整備による移動の円滑化 45.8%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 34.8%	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 31.0%

	第1位	第2位	第3位
60 歳代	道路の整備による移動の円滑化 50.4%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 37.4%	身近なお店や商店街の振興 26.7%

	第1位	第2位	第3位
70 歳代	道路の整備による移動の円滑化 50.3%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 41.1%	身近なお店や商店街の振興 28.5%

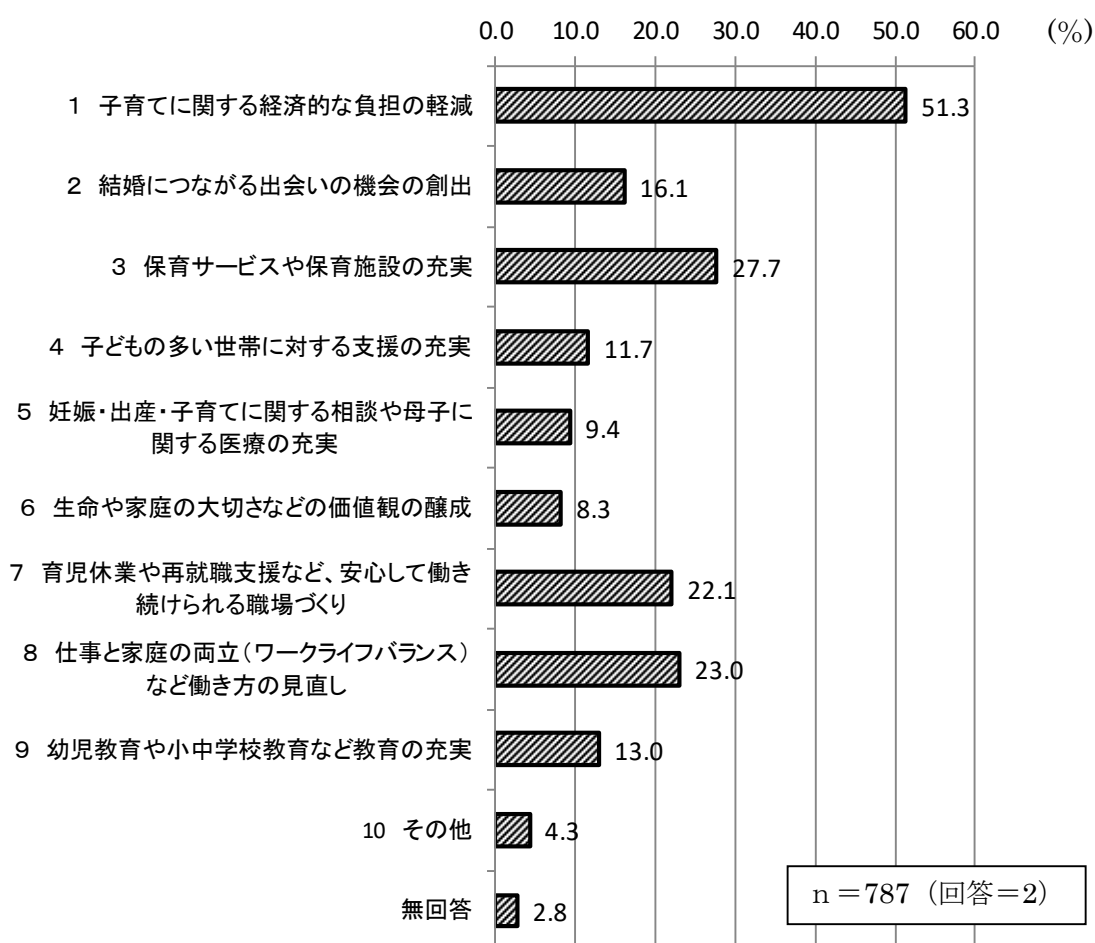
	第1位	第2位	第3位
80 歳以上	道路の整備による移動の円滑化 44.3%	身近なお店や商店街の振興 40.0%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 36.5%

【各年代とも上位項目は同様の傾向】

○年代別にみると、20 歳代を除く全ての年代において「道路の整備による移動の円滑化」が約半数の回答を集めています。また、「新しい雇用や税収につながる企業の誘致」、「市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実」も幅広い年代で上位項目となっています。

問10 少子化に歯止めをかけるためには、特にどんな取組みが大切だとお考えですか。特に大切だと思うものを2つまで選び、右欄にご記入ください。

- 1 子育てに関する経済的な負担の軽減
- 2 結婚につながる出会いの機会の創出
- 3 保育サービスや保育施設の充実
- 4 子どもの多い世帯に対する支援の充実
- 5 妊娠・出産・子育てに関する相談や母子に関する医療の充実
- 6 生命や家庭の大切さなどの価値観の醸成
- 7 育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり
- 8 仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）など働き方の見直し
- 9 幼児教育や小中学校教育など教育の充実
- 10 その他（具体的に



【子育ての経済的な負担の軽減に多くの回答】

- 少子化対策として力を入れることとしては、「子育てに関する経済的な負担の軽減」が突出して多く選択されています。
- 「保育サービスや保育施設の充実」(27.7%)や「仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）など働き方の見直し」(23.0%)、「育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり」(22.1%)など、仕事と育児の両立に関することも多くの回答を集めています。

【年代別集計】

	第1位	第2位	第3位
10 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 75.0%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 37.5%	保育サービスや保育施設の充実 他 12.5%

	第1位	第2位	第3位
20 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 64.9%	保育サービスや保育施設の充実 他 32.4%	子どもの多い世帯に対する支援の充実 18.9%
			仕事と家庭の両立など働き方の見直し 18.9%

	第1位	第2位	第3位
30 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 69.6%	保育サービスや保育施設の充実 32.9%	仕事と家庭の両立など働き方の見直し 24.1%

	第1位	第2位	第3位
40 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 56.8%	保育サービスや保育施設の充実 34.2%	仕事と家庭の両立など働き方の見直し 27.9%

	第1位	第2位	第3位
50 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 52.9%	保育サービスや保育施設の充実 23.9%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 23.2%
			仕事と家庭の両立など働き方の見直し 23.2%

	第1位	第2位	第3位
60 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 47.3%	保育サービスや保育施設の充実 33.6%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 24.4%
			仕事と家庭の両立など働き方の見直し 24.4%

	第1位	第2位	第3位
70 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 45.0%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 26.5%	仕事と家庭の両立など働き方の見直し 25.2%

	第1位	第2位	第3位
80 歳以上	子育てに関する経済的な負担の軽減 38.3%	結婚につながる出会いの機会の創出 24.3%	保育サービスや保育施設の充実 20.0%
		育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 24.3%	

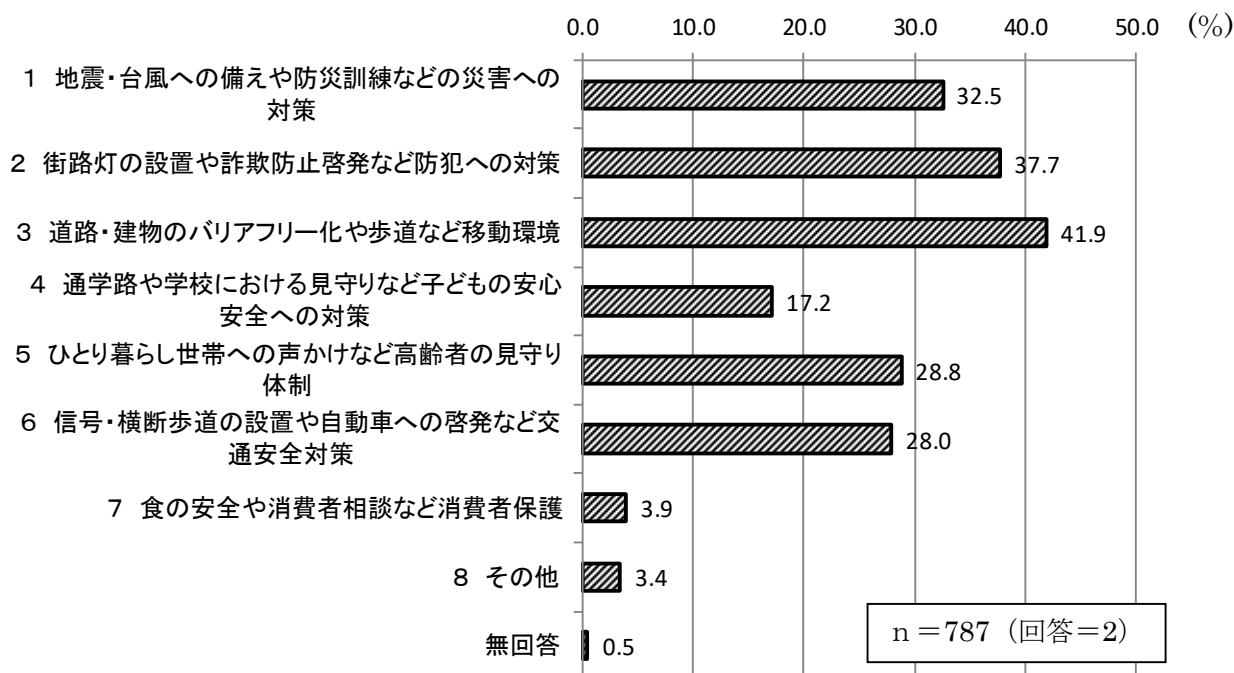
【全ての年代で「子育てに関する経済的な負担の軽減」が第1位】

○年代別にみると、全ての年代で「子育てに関する経済的な負担の軽減」が第1位となっています。

○20～60 歳代では「保育サービスや保育施設の充実」が第2位、10 歳代と 70～80 歳以上では「育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり」が第2位となっているほか、幅広い年代で「仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）など働き方の見直し」が第3位となっています。

問 1 1 あなたが暮らしている地域の安心・安全のためには、どのような取組みが大切だ
とお考えですか。特に大切だと思うものを2つまで選び、右欄にご記入ください。

- 1 地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策
- 2 街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策
- 3 道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境
- 4 通学路や学校における見守りなど子どもの安心安全への対策
- 5 ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制
- 6 信号・横断歩道の設置や自動車への啓発など交通安全対策
- 7 食の安全や消費者相談など消費者保護
- 8 その他（具体的に ）



【多様な分野への関心】

○「道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境」の41.9%をはじめ、「街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策」(37.7%)、「地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策」(32.5%)、の3項目が3割以上、「ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制」(28.8%)、「信号・横断歩道の設置や自動車への啓発など交通安全対策」(28.0%)の2項目が3割近くとなっており、安全・安心に関する多様な分野への関心を示す結果となりました。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	街路灯の設置や詐欺防止 啓発など防犯への対策 62.5%	道路・建物のバリアフリ ー化や歩道など移動環境 50.0%	地震・台風への備えや防災訓練 などの災害への対策 25.0% 信号・横断歩道の設置や自動車へ の啓発など交通安全対策 25.0% 食の安全や消費者相談など消費 者保護 25.0%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	地震・台風への備えや防 災訓練などの災害への対 策 48.6%	道路・建物のバリアフリ ー化や歩道など移動環境 43.2%	街路灯の設置や詐欺防止 啓発など防犯への対策 40.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	通学路や学校における見 守りなど子どもの安心安 全への対策 48.1%	街路灯の設置や詐欺防止 啓発など防犯への対策 45.6%	道路・建物のバリアフリ ー化や歩道など移動環境 35.4%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	道路・建物のバリアフリ ー化や歩道など移動環境 47.7%	街路灯の設置や詐欺防止 啓発など防犯への対策 39.6%	信号・横断歩道の設置や 自動車への啓発など交通 安全対策 35.1%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	道路・建物のバリアフリ ー化や歩道など移動環境 48.4%	地震・台風への備えや防 災訓練などの災害への対 策 36.8%	街路灯の設置や詐欺防止啓発な ど防犯への対策 32.9% 信号・横断歩道の設置や自動車へ の啓発など交通安全対策 32.9%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	道路・建物のバリアフリ ー化や歩道など移動環境 43.5%	街路灯の設置や詐欺防止 啓発など防犯への対策 38.9%	地震・台風への備えや防災訓練 などの災害への対策 29.9% ひとり暮らし世帯への声かけな ど高齢者の見守り体制 29.9% 信号・横断歩道の設置や自動車へ の啓発など交通安全対策 29.9%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	ひとり暮らし世帯への声 かけなど高齢者の見守り 体制 47.0%	道路・建物のバリアフリ ー化や歩道など移動環境 38.4%	街路灯の設置や詐欺防止 啓発など防犯への対策 36.4%

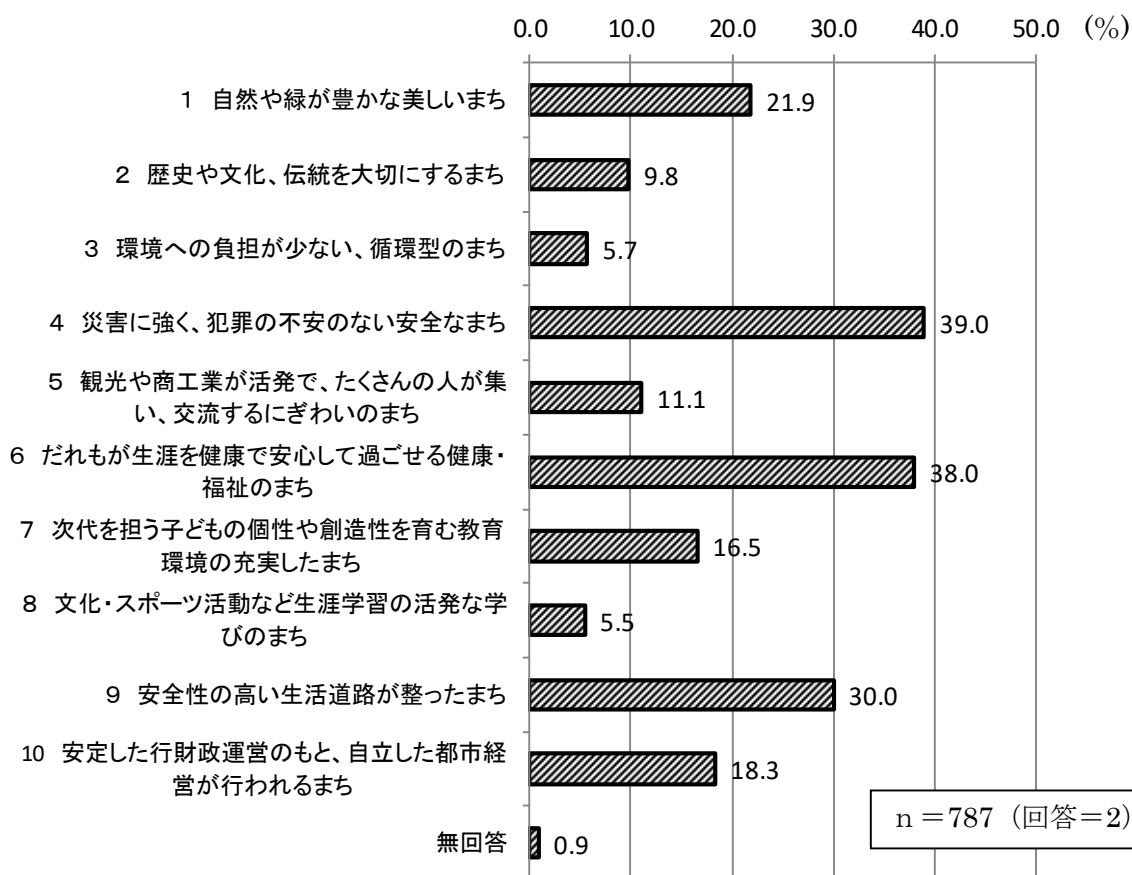
	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	ひとり暮らし世帯への声 かけなど高齢者の見守り 体制 47.0%	街路灯の設置や詐欺防止 啓発など防犯への対策 34.8%	道路・建物のバリアフリ ー化や歩道など移動環境 33.9%

【ライフステージに応じて関心を持つ安心・安全の分野も変化】

○年代別にみると、40～60 歳代で「道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境」が第 1 位、70～80 歳以上では「ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制」が第 1 位となっているほか、「通学路や学校における見守りなど子どもの」が 30 歳代で第 1 位、となっており、年代（ライフステージ）によって関心をもつ分野が変化しています。

問12 今後、向日市がどのようなまちであってほしいとお考えですか。特にあてはまるものを2つまで選び、右欄にご記入ください。

- 1 自然や緑が豊かな美しいまち
- 2 歴史や文化、伝統を大切にするまち
- 3 環境への負担が少ない、循環型のまち
- 4 災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち
- 5 観光や商工業が活発で、たくさんの人が集い、交流するにぎわいのまち
- 6 だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち
- 7 次代を担う子どもの個性や創造性を育む教育環境の充実したまち
- 8 文化・スポーツ活動など生涯学習の活発な学びのまち
- 9 安全性の高い生活道路が整ったまち
- 10 安定した行財政運営のもと、自立した都市経営が行われるまち



【「安心」「安全」「健康」に多くの回答】

○上位の回答としては、「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」(39.0%) が第1位、「だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち」(38.0%)、「安全性の高い生活道路が整ったまち」(30.0%) と続いており、誰にとっても身近な事柄である安心・安全・健康に関する項目が多くの回答を集めています。

【年代別集計】

	第1位	第2位	第3位
10 歳代	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 37.5%	自然や緑が豊かな美しいまち 他 29.1%	歴史や文化、伝統を大切に するまち 他 12.5%

	第1位	第2位	第3位
20 歳代	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 45.9%	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 29.7%	安全性の高い生活道路が整ったまち 24.3%

	第1位	第2位	第3位
30 歳代	次代を担う子どもの個性や創造性を育む教育環境の充実したまち 41.8%	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 39.2%	安全性の高い生活道路が整ったまち 35.4%

	第1位	第2位	第3位
40 歳代	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 38.7%	安全性の高い生活道路が整ったまち 37.8%	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 29.7%
			次代を担う子どもの個性や創造性を育む教育環境の充実したまち 29.7%

	第1位	第2位	第3位
50 歳代	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 40.6%	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 33.5%	安全性の高い生活道路が整ったまち 31.0%

	第1位	第2位	第3位
60 歳代	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 46.6%	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 34.4%	安全性の高い生活道路が整ったまち 30.5%

	第1位	第2位	第3位
70 歳代	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 47.0%	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 38.4%	自然や緑が豊かな美しいまち 25.2%
			安全性の高い生活道路が整ったまち 25.2%

	第1位	第2位	第3位
80 歳以上	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 42.6%	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 40.9%	安全性の高い生活道路が整ったまち 25.2%

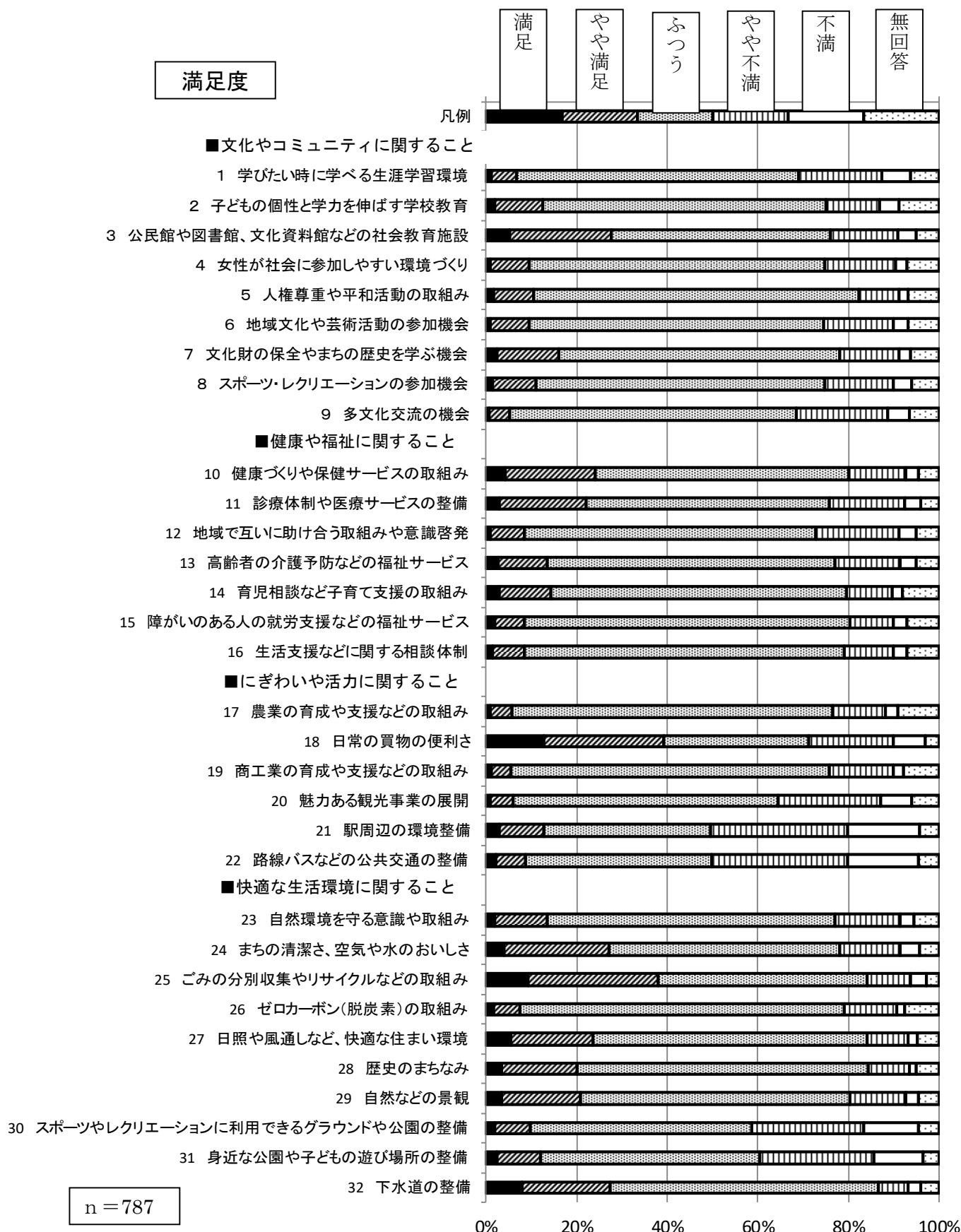
【各年代とも上位項目は同様の傾向】

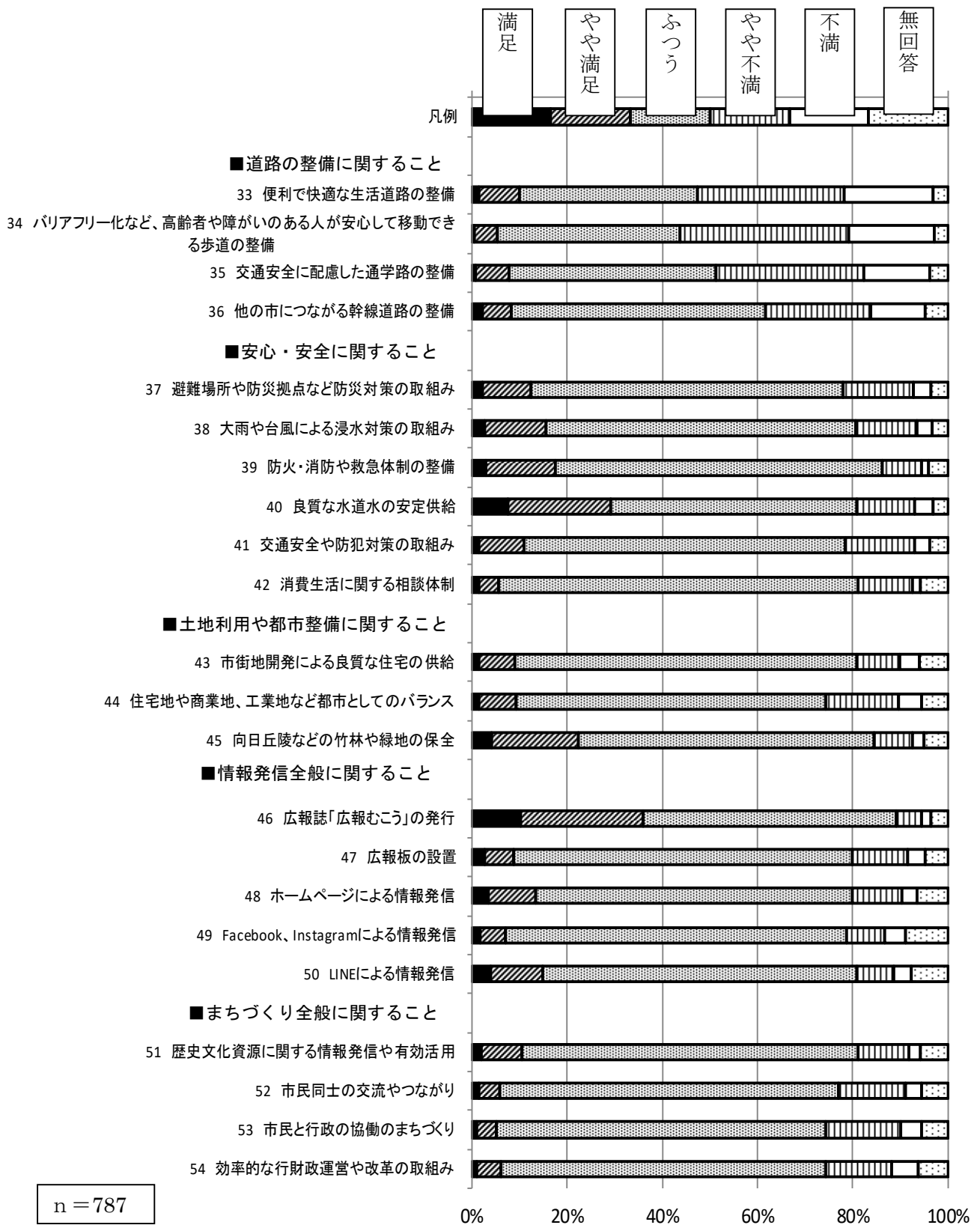
○年代別にみると、順位は異なりますが、全ての年代で「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」「だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち」「安全性の高い生活道路が整ったまち」の3項目が上位を占めています。

○30～40 歳代では「次代を担う子どもの個性や創造性を育む教育環境の充実したまち」が上位に入っており、年代によって関心をもつ分野が変化しています。

■ 施策の満足度・重要度について

問 13 あなたは、まちの住み心地や行政の施策について、日ごろどのように感じておられますか。また、今後の重要性について、どのようにお考えですか。回答例にならって、今のお気持ちに最も近い番号を1つ選んで○印をつけてください。





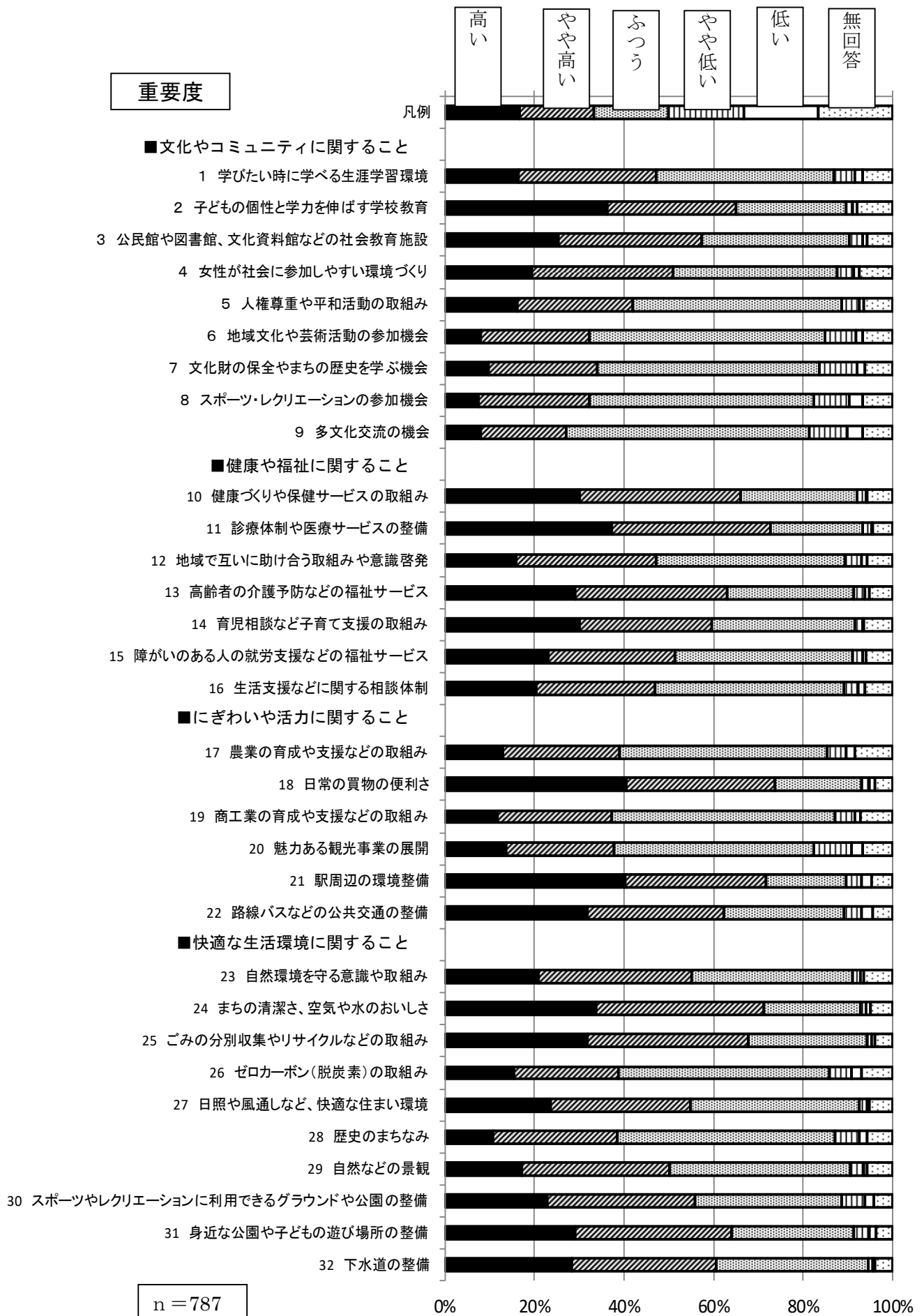
【満足度上位】

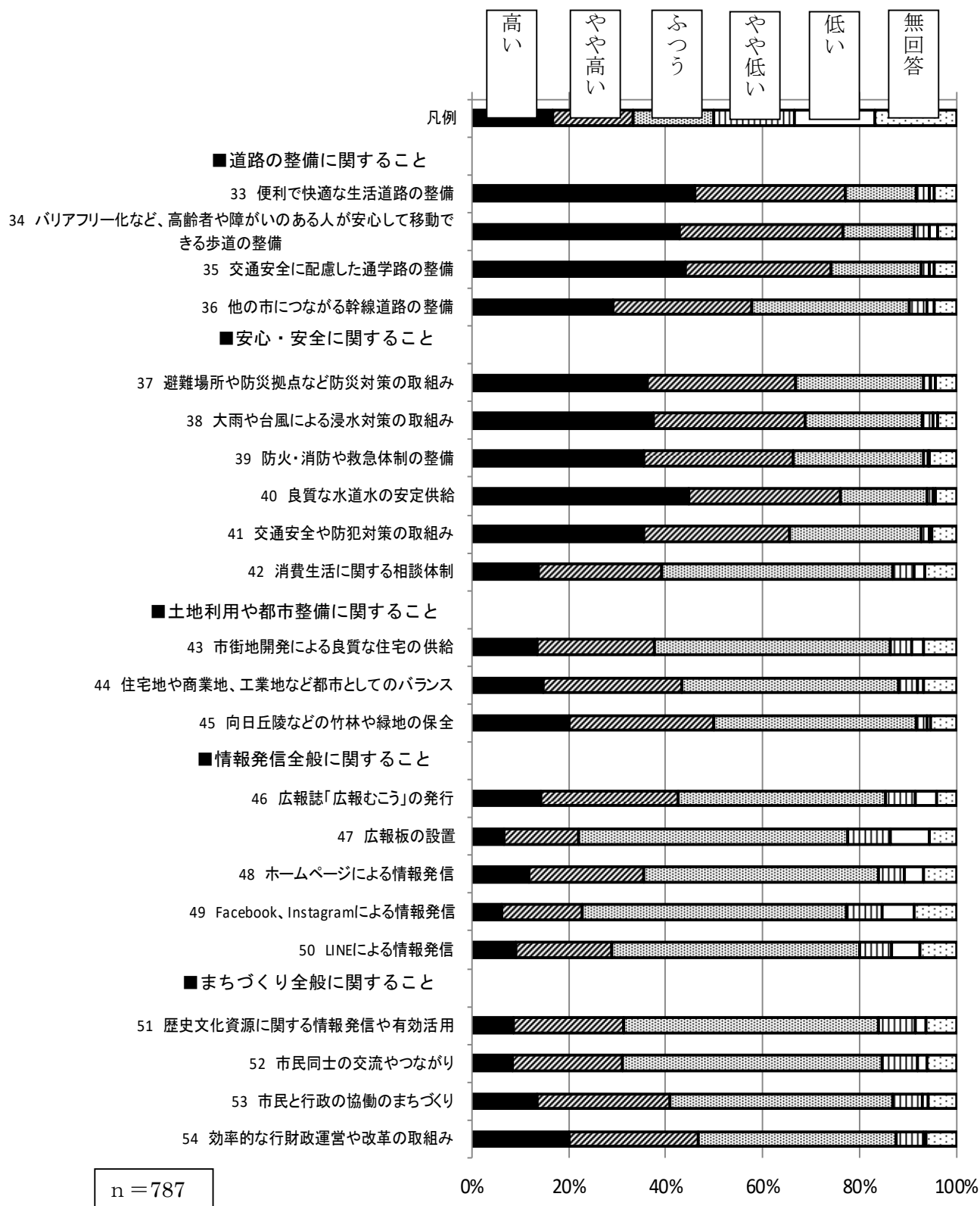
選択項目	係数ポイント
46 広報誌「広報むこう」	3. 3 8
25 ごみ分別・リサイクル	3. 3 1
32 下水道の整備	3. 2 4
18 日常の買物の便利さ	3. 2 0
40 良質な水道水の供給	3. 1 7

【満足度下位】

選択項目	係数ポイント
34 安心して移動できる歩道整備	2. 3 3
33 便利で快適な生活道路	2. 4 1
22 公共交通の整備	2. 4 7
35 交通安全に配慮した通学路の整備	2. 4 8
21 駅周辺の環境整備	2. 5 2

※)「係数ポイント」は「満足」を5点～「不満」を1点としたものの平均値。





【重要度上位】

選択項目	係数ポイント
40 良質な水道水の安定供給	4. 2 4
33 便利で快適な生活道路	4. 2 4
35 交通安全に配慮した通学路の整備	4. 2 0
34 安心して移動できる歩道整備	4. 1 7
18 日常の買物の便利さ	4. 1 5

【重要度下位】

選択項目	係数ポイント
47 広報板の設置	3. 0 4
49 facebook、Instagram	3. 0 9
50 LINE	3. 2 1
9 多文化交流の機会	3. 2 2
8 スポーツの参加機会	3. 2 8

※)「係数ポイント」は「高い」を5点～「低い」を1点としたものの平均値。

■文化やコミュニティに関すること

	満足度	重要度
1 学びたい時に学べる生涯学習環境	2.75	3.59
2 子どもの個性と学力を伸ばす学校教育	2.93	4.06
3 公民館や図書館、文化資料館などの社会教育施設	3.10	3.82
4 女性が社会に参加しやすい環境づくり	2.89	3.69
5 人権尊重や平和活動の取組み	2.99	3.55
6 地域文化や芸術活動の参加機会	2.87	3.33
7 文化財の保全やまちの歴史を学ぶ機会	3.00	3.34
8 スポーツ・レクリエーションの参加機会	2.88	3.28
9 多文化交流の機会	2.74	3.22

■健康や福祉に関すること

	満足度	重要度
10 健康づくりや保健サービスの取組み	3.11	3.99
11 診療体制や医療サービスの整備	3.01	4.13
12 地域で互いに助け合う取組みや意識啓発	2.82	3.60
13 高齢者の介護予防などの福祉サービス	2.95	3.93
14 育児相談など子育て支援の取組み	3.03	3.93
15 障がいのある人の就労支援などの福祉サービス	2.94	3.75
16 生活支援などに関する相談体制	2.92	3.65

■にぎわいや活力に関すること

	満足度	重要度
17 農業の育成や支援などの取組み	2.88	3.48
18 日常の買物の便利さ	3.20	4.15
19 商工業の育成や支援などの取組み	2.87	3.45
20 魅力ある観光事業の展開	2.69	3.41
21 駅周辺環境整備	2.52	4.09
22 路線バスなどの公共交通の整備	2.47	3.89

■快適な生活環境に関すること

	満足度	重要度
23 自然環境を守る意識や取組み	2.95	3.77
24 まちの清潔さ、空気や水のおいしさ	3.09	4.07
25 ごみの分別収集やリサイクルなどの取組み	3.31	4.01
26 ゼロカーボン(脱炭素)の取組み	2.93	3.48
27 日照や風通しなど、快適な住まい環境	3.17	3.80
28 歴史のまちなみ	3.12	3.43
29 自然などの景観	3.07	3.66
30 スポーツやレクリエーションに利用できるグラウンドや公園の整備	2.61	3.73
31 身近な公園や子どもの遊び場所の整備	2.66	3.90
32 下水道の整備	3.24	3.90

■道路の整備に関すること

	満足度	重要度
33 便利で快適な生活道路の整備	2.41	4.24
34 バリアフリー化など、高齢者や障がいのある人が安心して移動できる歩道の整備	2.33	4.17
35 交通安全に配慮した通学路の整備	2.48	4.20
36 他の市につながる幹線道路の整備	2.64	3.84

■安心・安全に関すること

	満足度	重要度
37 避難場所や防災拠点など防災対策の取組み	2.93	4.04
38 大雨や台風による浸水対策の取組み	2.99	4.07
39 防火・消防や救急体制の整備	3.10	4.06
40 良質な水道水の安定供給	3.17	4.24
41 交通安全や防犯対策の取組み	2.92	4.03
42 消費生活に関する相談体制	2.92	3.47

■土地利用や都市整備に関すること

	満足度	重要度
43 市街地開発による良質な住宅の供給	2.93	3.45
44 住宅地や商業地、工業地など都市としてのバランス	2.85	3.55
45 向日丘陵などの竹林や緑地の保全	3.14	3.70

■情報発信全般に関わること

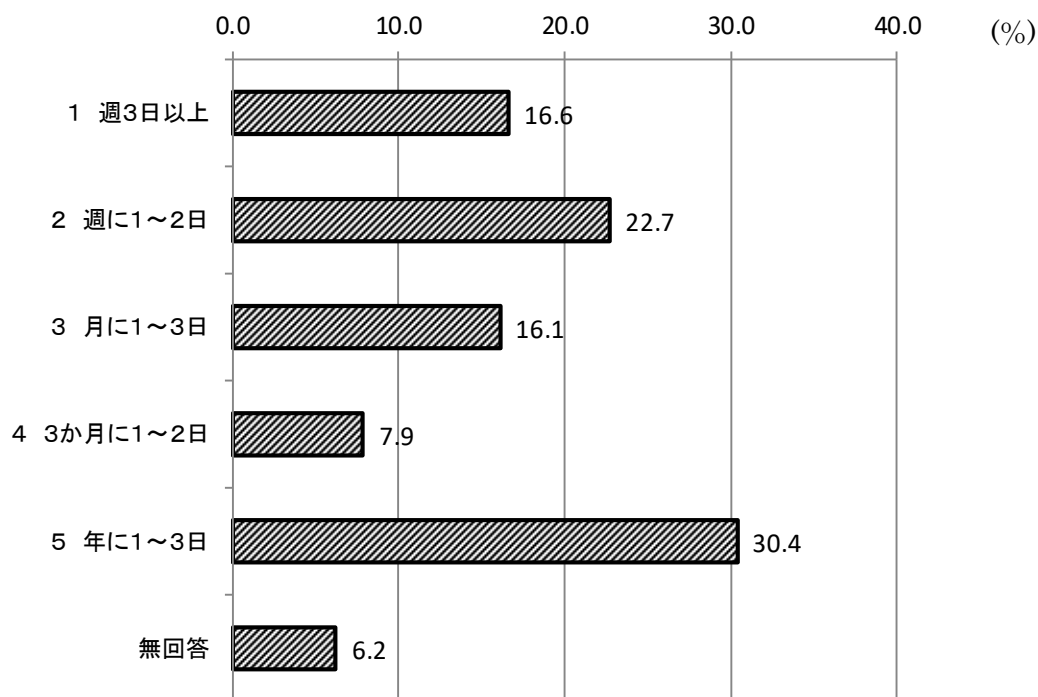
	満足度	重要度
46 広報誌「広報むこう」の発行	3.38	3.44
47 広報板の設置	2.92	3.04
48 ホームページによる情報発信	3.00	3.37
49 Facebook、Instagramによる情報発信	2.91	3.09
50 LINEによる情報発信	3.04	3.21

■まちづくり全般に関わること

	満足度	重要度
51 歴史文化資源に関する情報発信や有効活用	2.97	3.30
52 市民同士の交流やつながり	2.86	3.30
53 市民と行政の協働のまちづくり	2.81	3.49
54 効率的な行財政運営や改革の取組み	2.81	3.64

問14 あなたは、この1年間、どのくらいの頻度で運動やスポーツを行いましたか。あてはまる番号を1つ選んで、右欄にご記入ください。

- 1 週3日以上
- 2 週に1～2日
- 3 月に1～3日
- 4 3か月に1～2日
- 5 年に1～3日

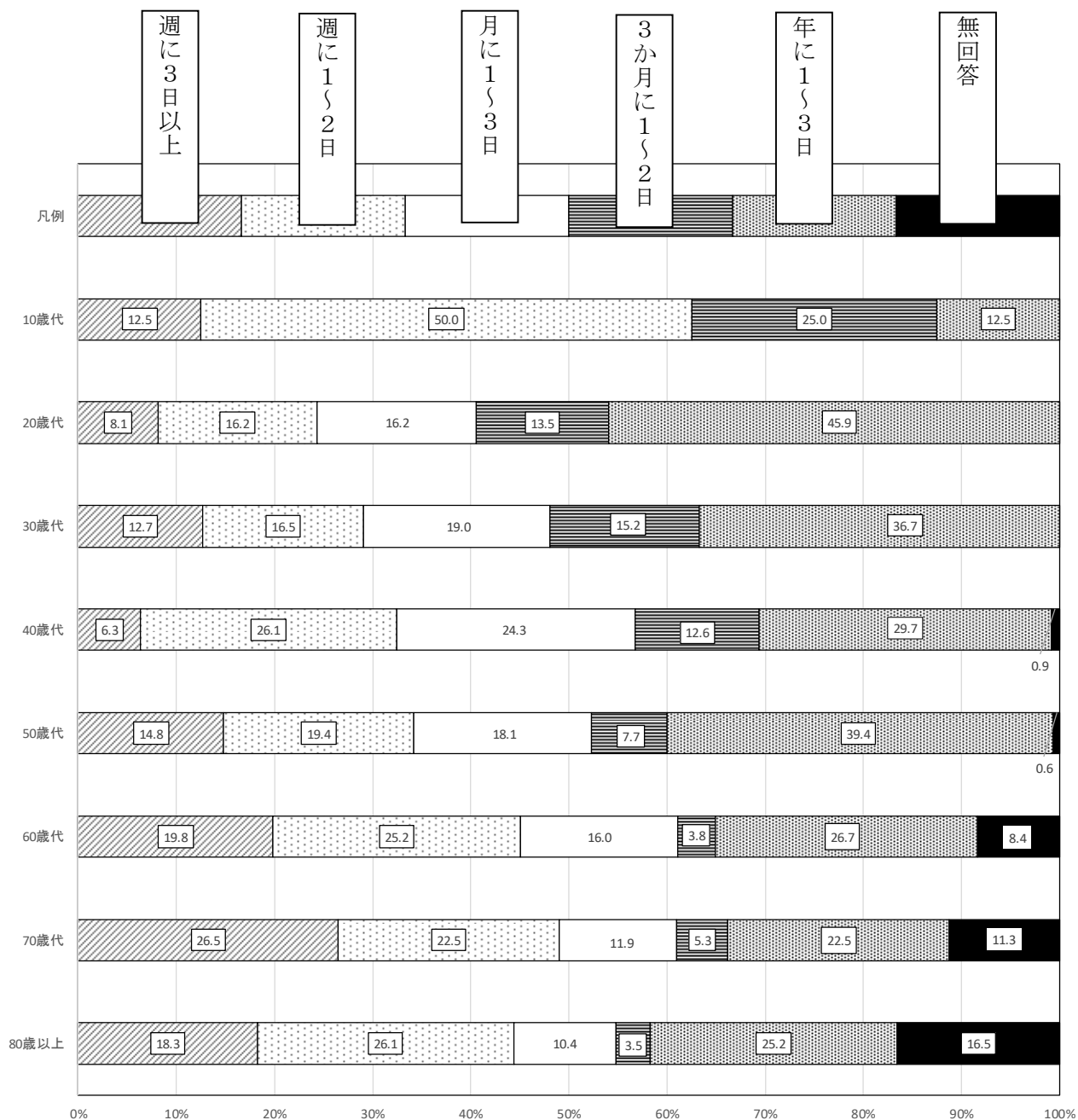


n = 787

【「年に1～3日」が3割を占める】

○運動やスポーツをする頻度は、「年に1～3日」が最も多く3割を占めています。次いで「週に1～2日」(22.7%)、「週3日以上」(16.6%)、「月に1～3日」(16.1%)となっています。

【年代別集計】



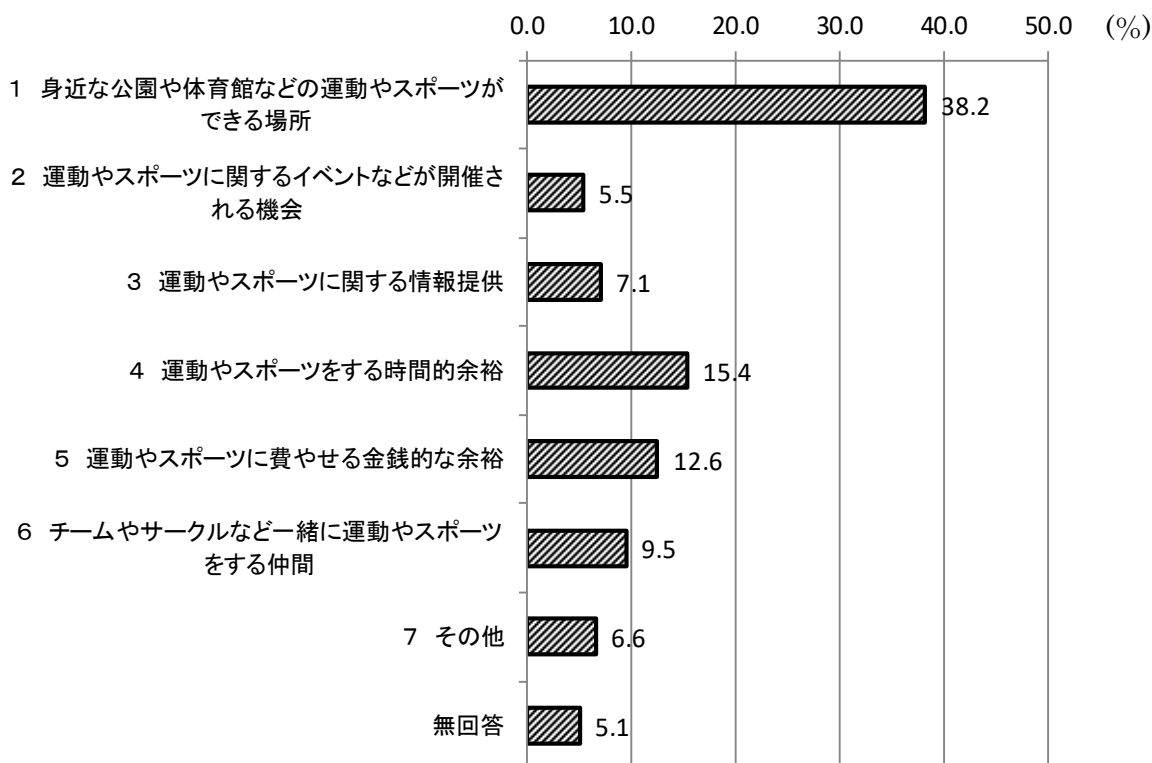
【年代が上がるほど頻度が高い傾向】

○年代別にみると、「週に3日以上」「週に1～2日」と回答した人は、70歳代で最も高く、49%と約半数となっています。

○一方、20歳代で「週に3日以上」「週に1～2日」と回答した人は、24.3%にとどまっており、年代が上がるほど、スポーツをする頻度が高い傾向を示しています。

問 15 あなたは、どのような環境があればさらに運動やスポーツを行いたいと思いますか。
 あてはまる番号を 1 つ選んで、右欄にご記入ください。

- 1 身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所
- 2 運動やスポーツに関するイベントなどが開催される機会
- 3 運動やスポーツに関する情報提供
- 4 運動やスポーツをする時間的な余裕
- 5 運動やスポーツに費やせる金銭的な余裕
- 6 チームやサークルなど一緒に運動やスポーツをする仲間
- 7 その他（具体的に



n = 787

【「身近な公園や体育館など運動やスポーツができる場所」が 1 位】

- 運動やスポーツを行いたいと思う環境としては「身近な公園や体育館などの場所」が 4 割近くと圧倒的な回答を集めています。
- 次いで「運動やスポーツをする時間的な余裕」(15.4%)、「運動やスポーツに費やせる金銭的な余裕」(12.6%)となっています。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所 50.0%	運動やスポーツをする時間的余裕 25.0%	運動やスポーツに関する情報提供 12.5% チームやサークルなど一緒に運動やスポーツをする仲間 12.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所 54.1%	運動やスポーツをする時間的余裕 25.0% 運動やスポーツに費やせる金銭的な余裕 25.0%	運動やスポーツに関するイベントなどが開催される機会 10.8%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所 45.6%	運動やスポーツをする時間的余裕 21.5%	運動やスポーツに費やせる金銭的な余裕 15.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所 34.2%	運動やスポーツをする時間的余裕 23.4%	運動やスポーツに費やせる金銭的な余裕 14.4% チームやサークルなど一緒に運動やスポーツをする仲間 14.4%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所 36.8%	運動やスポーツをする時間的余裕 20.6%	運動やスポーツに費やせる金銭的な余裕 17.4%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所 35.9%	運動やスポーツをする時間的余裕 17.6%	運動やスポーツに費やせる金銭的な余裕 15.3%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所 41.1%	運動やスポーツに関する情報提供 10.6%	チームやサークルなど一緒に運動やスポーツをする仲間 9.9%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所 32.2%	その他 13.9%	チームやサークルなど一緒に運動やスポーツをする仲間 12.2%

【全ての年代で「身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所」が第 1 位】

○年代別にみると、全ての年代で「身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所」が第 1 位となっており、3～5 割を占めています。

○10～60 歳代では、「運動やスポーツをする時間的余裕」が第 2 位、20～60 歳代で「運動やスポーツに費やせる金銭的な余裕」が第 3 位（20 歳代では同率 2 位）となっています。

自由意見

●歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

○歴史・文化、観光（１７件）

テーマ	意見例
歴史・文化 観光	・歴史遺産の保全、活用 ・竹の径などの整備及び観光ＰＲ ・祭りの開催 ・外国人観光客向けのＰＲ 等

○産業の活性化（９５件）

テーマ	意見例
産業の活性化	・企業誘致 ・飲食店等の充実 ・駅前活性化（商業施設など） ・高齢者の買い物環境向上 ・若い世代に魅力のある施設 ・洛西口駅西側の開発による活性化 ・西向日駅周辺の利便性の向上（スーパーなど） 等

○都市基盤の整備（３９３件）

テーマ	意見例
道路整備 駅周辺整備 公園・グラウンド・広 場等整備 住宅	・道路の整備、渋滞対策（物集女街道、アリーナ周辺） ・向日町駅東口の開設 ・阪急東向日駅周辺の整備（阪急高架化） ・阪急洛西口駅周辺の開発 ・アリーナ建設の反対 ・緑あふれる街並み ・子どもがのびのび遊べる公園の整備 ・コミュニティバスの本数、経路の改善 ・空き家対策 等

○ゼロカーボン、環境・資源循環（３２件）

テーマ	意見例
廃棄物 自然環境 生活環境	・ごみ問題（回数増加、ルール徹底、ポイ捨て、歩きタバコ） ・自然の保全 ・産業活性化によるごみ増加への懸念 等

○災害対策・防災・防犯・消防（３１件）

テーマ	意見例
防災 消防救急 防犯 交通安全 公共交通	・災害に強いまちづくり（避難所・宿泊施設の整備など） ・水害対策の強化 ・土砂災害特別警戒区域の整備 ・街路灯の設置 ・防犯カメラの設置 ・歩行者・自転車・自動車の安全 ・来訪者の増加による治安の悪化への懸念 等

○上下水道（５件）

テーマ	意見例
上水道 下水道	・ 水道の水質改善（味、におい、P F A S） ・ 水道料金の見直し

等

●人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

○子育て、少子化対策（１８件）

テーマ	意見例
結婚 妊娠・出産 保育	・ 子育て環境、保育サービスの充実（病児保育など） ・ 経済的負担の軽減（不妊治療、児童手当拡充） ・ 子供の遊び場の充実（施設、公園などのスペース）

等

○健康・福祉（３２件）

テーマ	意見例
健康・医療 高齢者 障がいのある人 地域福祉	・ 高齢者が安心して住めるまちづくり ・ 健康づくりの支援 ・ 就労支援の充実 ・ 介護、医療施設の拡充 ・ 検診、予防接種の充実

等

○学校教育、生涯学習・スポーツ（５３件）

テーマ	意見例
教育環境 生涯学習 スポーツ	・ 学費補助 ・ 児童、生徒数増に伴う学校受け入れ強化 ・ 通学路の安全 ・ 小学校の老朽化対策 ・ スポーツ施設の充実 ・ 市民温水プールの再開 ・ アリーナでのイベント開催（スポーツ観戦、コンサートなど） ・ 図書館、文化資料館の魅力向上

等

●信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

○市民参加、市民協働（１２件）

テーマ	意見例
コミュニティ 市民参画	・ コミュニケーション活動の拠点づくり ・ 自治会の活性化 ・ 住民参加、市民意見の反映 ・ 若い世代が活躍できる場の創出

等

○行財政運営、議会、情報発信・PR（33件）

テーマ	意見例
行財政運営 議会 情報発信・PR	・行政サービスの向上（デジタル化推進） ・適正な行財政運営 ・市の情報発信の充実（新しいまちづくりについて）
	等

●その他（23件）

テーマ	意見例
その他	・若い世代が住みたくなるまちづくり ・市のイベントの充実
	等

※複数のテーマに対する意見については、テーマごとに件数をカウントしています。

【都市基盤に多くの意見】

○回収した全アンケート787件に対し、558件（70.9%）で自由意見欄への記載があり、特に都市基盤の整備（393件）へ多くの意見が寄せられました。

